



令和6年12月20日
中日本高速道路株式会社 名古屋支社
国土交通省 中部地方整備局

国道475号東海環状自動車道(西回り区間)事業調整会議の結果について

東海環状自動車道(西回り区間)の現在の進捗状況等について、国土交通省、中日本高速道路株式会社、岐阜県及び三重県で情報共有を図るため、事業調整会議(第2回)を開催した結果をお知らせします。

令和6年12月20日に開催した「国道475号東海環状自動車道(西回り区間)事業調整会議(第2回)」の開催結果をお知らせします。

会議の概要は以下の通りです。

開催日時： 令和6年12月20日(金) 10時～

構成機関： 中日本高速道路(株)名古屋支社・岐阜工事事務所・四日市工事事務所
国土交通省中部地方整備局・岐阜国道事務所・北勢国道事務所
岐阜県 県土整備部
三重県 県土整備部

議事概要： 別添のとおり

〈問合せ先〉

NEXCO中日本お客さまセンター(24時間365日対応)

TEL：0120-922-229(フリーダイヤル)

※フリーダイヤルをご利用にならない場合

TEL：052-223-0333(有料)

国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路計画課

課長 しばた 柴田 やすはる 康晴

電話：052-953-8168

国道475号 東海環状自動車道（西回り区間）事業調整会議（第2回） 議事概要

1. 日 時

令和6年12月20日（金） 10時～

2. 出席者

国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路計画課長

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所長

岐阜県 県土整備部 道路建設課長

三重県 県土整備部 道路企画課長

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 建設事業部 企画統括課長

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 岐阜工事事務所長

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 四日市工事事務所長

3. 議 事

現在の進捗状況、工事における課題と対応、今後の見通し

4. 議事概要

○工事における課題と対応

＜本巢IC～大野神戸IC＞ 七五三第一高架橋

- ・桁、床版など上部工工事は約8割が完了。
- ・工程短縮策の実施により、計画よりも前倒しして工事が進捗しており、本巢IC～大野神戸ICについては、令和7年夏頃には工事完成する見込み。
- ・引き続き、早期開通に向け鋭意工事を進めていく。

＜養老IC～いなべIC＞ 養老トンネル

- ・令和6年11月末時点で本坑掘削は約2.3km（全長約4.7km）が完了。
- ・岐阜県側および三重県側から掘削している避難坑において、令和5年11月に坑口から978m地点で湧水が発生した以降、継続的に湧水が発生している状況。
- ・トンネル施工技術検討会での意見を踏まえ、湧水に対する水抜きボーリングや注入工などの補助工法を追加し、安全を最優先に慎重に工事を実施。
- ・岐阜県側から掘削している避難坑において、令和6年10月に坑口から1,450m地点において、地中の高い水圧・土圧の影響により、路面の盤膨れなどの地盤変状が発生。
- ・養老山地は地下構造物の施工実績が乏しく地層構成の知見が少なく、また先行している避難坑の事象等を踏まえると、今後の地層構成の予測は難しい。常にそのリスクに対応しながらの施工が必要。
- ・令和6年12月には岐阜県側の湧水量が一時約600 t /hとなり、避難坑掘削を一時停止中。（12月9日～）
- ・今後生じる、湧水や地質の確実な予測は難しい状況であり、工事工程が見通せない状況。

○今後の開通見通し

- ・「山県IC～本巢IC」、「いなべIC～大安IC」は、令和6年度開通予定
- ・「本巢IC～大野神戸IC」は、開通が最大で半年程度遅れる可能性があったが、工程短縮策により、令和7年夏頃開通予定
- ・「養老IC～いなべIC」は、令和8年度開通予定としていたが開通時期の見直しが必要
 - ・養老トンネルでは相当量の湧水が発生し続けており、これまでに専門家の意見を踏まえて水抜きボーリングや止水のための補助工法を追加して着実に工事が進められるよう努めてきたものの、掘削した区間で新たに盤膨れ等の地盤変状が発生しており、掘削に時間を要している。また、この先も、断層破碎帯を通過することが想定されるため、湧水や地盤変状リスクの可能性もあり工事完了時期が見通せない状況。
 - ・見直し後の開通時期については、今後の工事進捗状況を踏まえて工程精査し、改めてお知らせ。
- ・引き続き、安全に十分配慮して着実に工事を実施。

(岐阜県からの意見)

- ・「山県IC～本巣IC間」については、予定通り令和6年度中に開通、「本巣IC～大野神戸IC間」については、工期短縮により、令和7年夏頃に開通となることは、ありがたい。
- ・令和8年度開通予定であった「養老IC～いなべIC間」については、開通時期の見直しが必要となったことは残念だが、湧水などの養老トンネルの現状を聞き、やむを得ないと考えている。
- ・引き続き、安全第一で工事を進めていただくとともに、工期短縮とコスト縮減に努め、早期の全線開通をお願いする。
- ・また、全線開通に対する地域の期待も日増しに高まっているので、見直し後の開通時期については、1日も早い公表をお願いしたい。
- ・今後も、両県への丁寧な情報共有を行い、関係を密にして事業を進めていただきたい。

(三重県からの意見)

- ・「いなべIC～大安IC間」については、予定通り令和6年度中に開通となることは、ありがたい。
- ・「養老IC～いなべIC間」の養老トンネル工事において、湧水対策実施後も相当量の湧水が発生し、掘削に想定以上の時間を要していること、また、この先も断層破碎帯の通過による湧水や地盤変状等の可能性があり、工事完了時期が見通せないことを理解した。
- ・湧水の発生は自然のことであり、想定以上に時間を要していることはやむを得ないことではあるが、引き続き、地域にも丁寧に説明をしていただきながら、安全に十分配慮しつつ着実な工事進捗を図り、1日も早い開通をお願いしたい。
- ・全線開通によるアクセス向上を見越した新規企業立地や観光施設の開業・リニューアルが進むなど、沿線地域の期待も大きいことから、できるだけ早く、新たな開通予定時期を提示していただきたい。

以 上

国道475号 東海環状自動車道(西回り区間) 事業調整会議(第2回)

説明資料

令和6年12月20日

中日本高速道路株式会社 名古屋支社
国土交通省 中部地方整備局

<目次>

1. 現在の進捗状況について
2. 工事における課題と対応
3. 今後の見通し

1. 現在の進捗状況について

■西回り全体

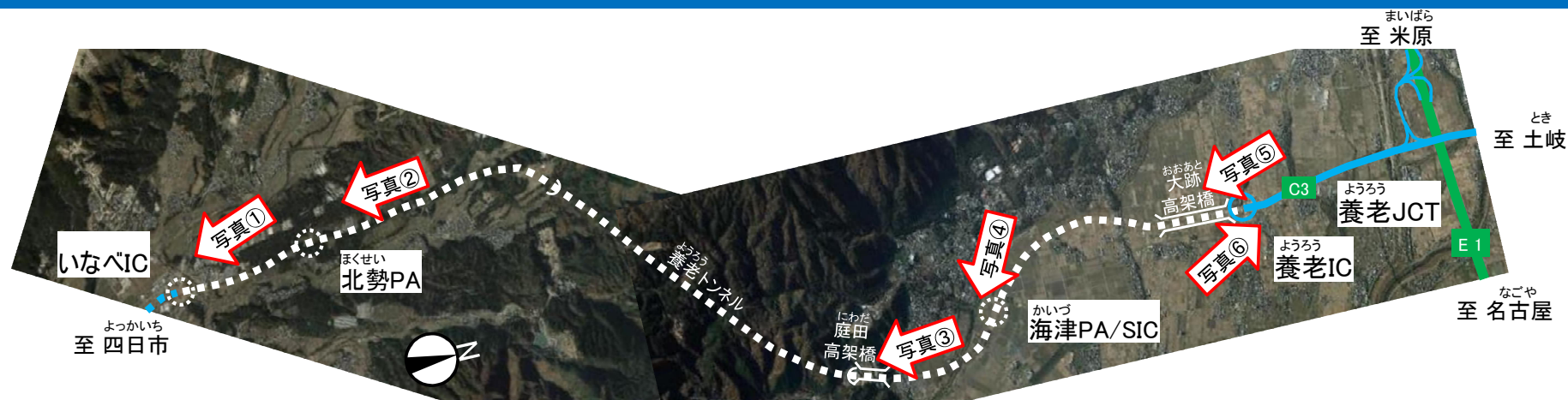
- 東海環状自動車道は、愛知・岐阜・三重3県の都市を環状に連絡し、東名・名神高速道路等の放射状幹線道路と接続し広域的なネットワークを形成する延長153kmの高規格道路
- 現在、残る未開通3区間において、国・NEXCO中日本により共同で事業推進しているところ



1. 現在の進捗状況について(山県IC～大野神戸IC)



1. 現在の進捗状況について(養老IC～いなべIC)



注) 未開通区間のIC名称等は仮称
※写真は令和6年11月末時点

1. 現在の進捗状況について(いなべIC～大安IC)



※写真は令和6年11月末時点

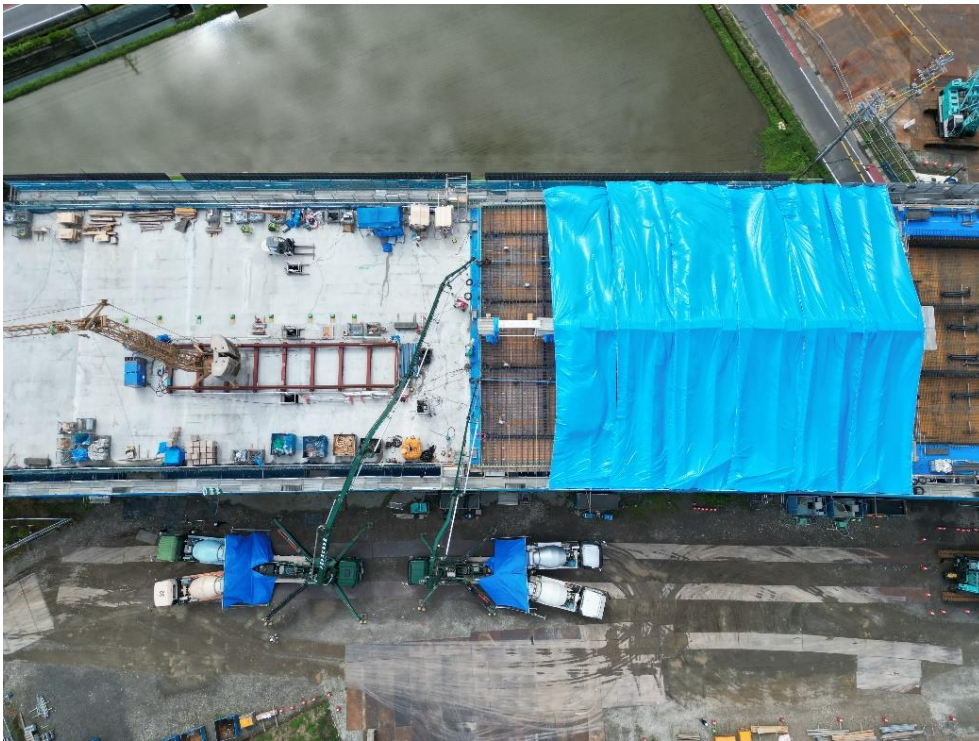
2. 工事における課題と対応(本巢IC～大野神戸IC)

■七五三第一高架橋 工程短縮策の実施状況

○一日も早い工事完成に向け工程短縮策を実施中

工程短縮策

- ・天候の影響を受けにくい施工方法(雨よけ等の設置)の実施
- ・作業人員、作業機械の増強



雨よけ(テント)の設置と作業状況



作業機械の増強

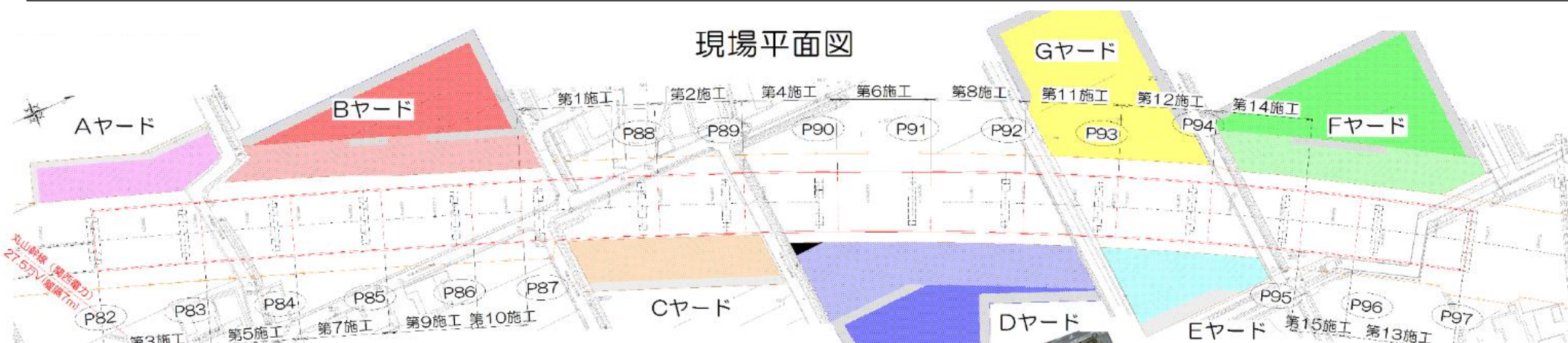
2. 工事における課題と対応(本巢IC～大野神戸IC)

■七五三第一高架橋の進捗状況(令和6年11月末時点)

○橋梁下部工はすべて完成済

○橋梁上部工は、P82～P94は完成、P94～P97は工事中

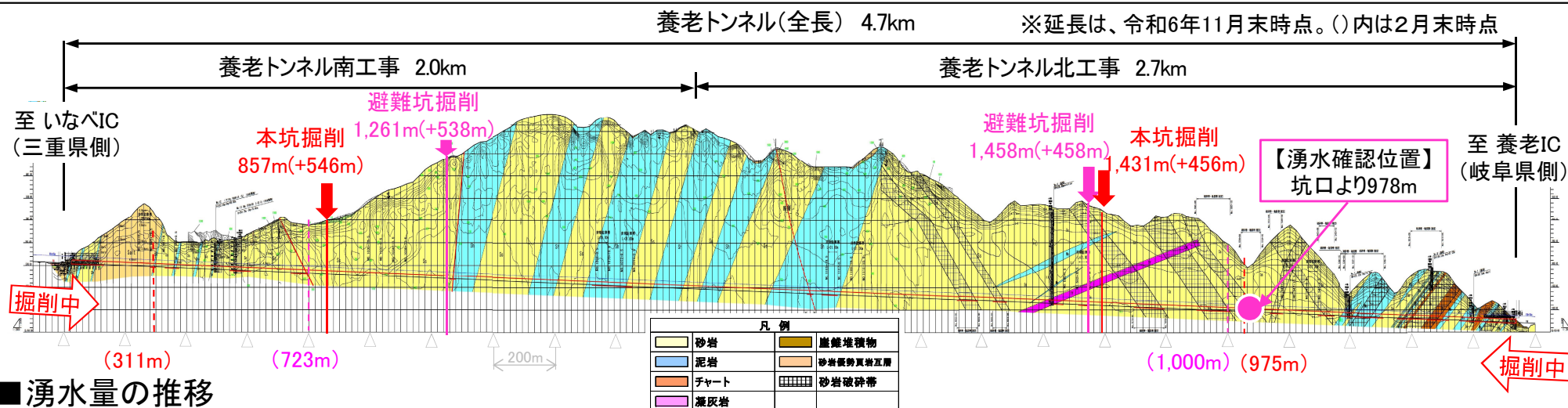
⇒計画よりも前倒して工事が進捗しており、本巢IC～大野神戸ICについては、令和7年夏頃には工事完成する見込み



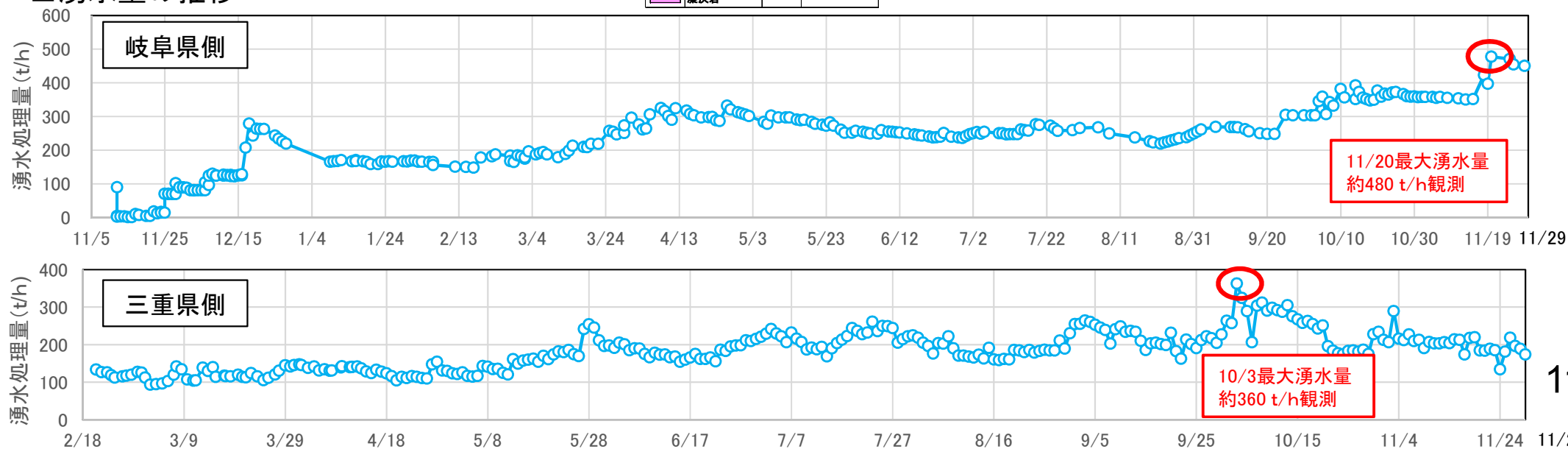
2. 工事における課題と対応(養老IC～いなべIC)

■「養老トンネル」における湧水の発生状況

- 岐阜県側から掘削している避難坑において、R5年11月に坑口から978m地点で湧水が発生した以降、継続的に湧水が発生している状況。
(三重県側の掘削工事も同様の傾向)



■湧水量の推移



2. 工事における課題と対応(養老IC～いなべIC)

■「養老トンネル」でこれまでに実施している湧水対策

○トンネル施工技術検討会での意見を踏まえ、湧水に対する水抜きボーリングや注入工などの補助工法を追加し、安全を最優先に慎重に工事を実施



＜水抜きボーリング＞



＜注入工（地山改良工）＞



＜鏡ボルト＞



＜濁水処理設備の増強＞

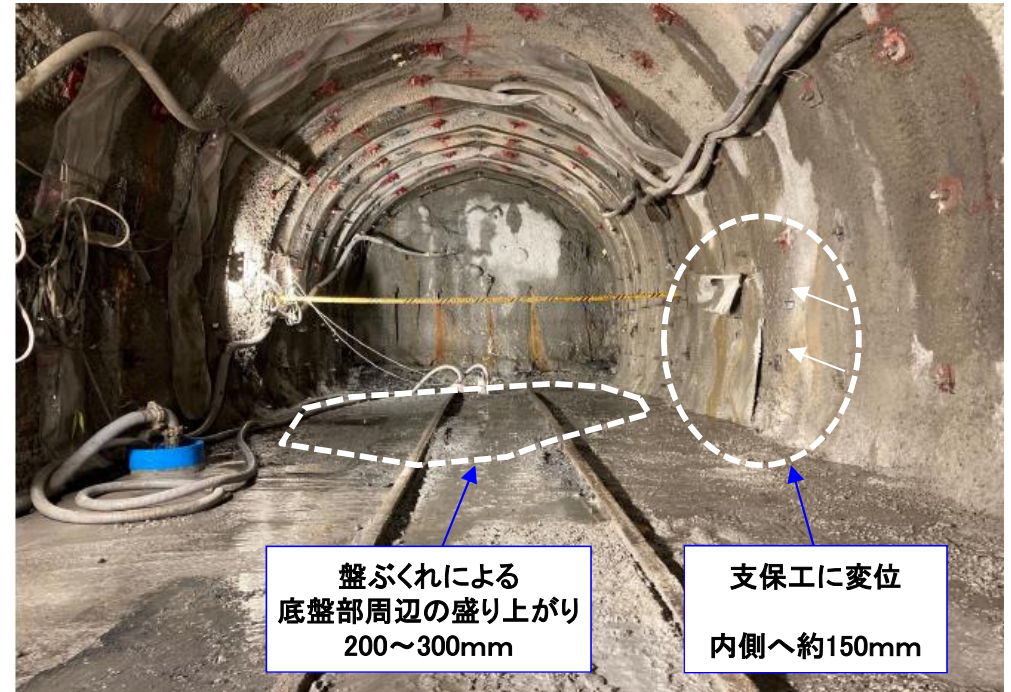
2. 工事における課題と対応(養老IC～いなべIC)

■「養老トンネル」における地盤変状の状況

- 岐阜県側から掘削している避難坑において、R6年10月に坑口から1,450m地点において、地中の高い水圧・土圧の影響により、路面の盤膨れなどの地盤変状が発生。
- 養老山地は地下構造物の施工実績が乏しく地層構成の知見が少なく、また先行している避難坑の事象等を踏まえると、今後の地層構成の予測は難しい。常にそのリスクに対応しながらの施工が必要。
- R6年12月には岐阜県側の湧水量が一時約600t/hとなり、避難坑掘削を一時停止中(12月9日～)。



高い土圧に耐えるために切ばり(横方向の鋼材)を設置



盤ぶくれによる
底盤部周辺の盛り上がり
200～300mm

支保工に変位
内側へ約150mm

アーチ支保に一部変形

- 上記の追加対策によって工事に時間を要している。
- 今後生じる、湧水や地質の確実な予測は難しい状況であり、工事工程が見通せない状況

3. 今後の見通し

○「山県IC～本巣IC」、「いなべIC～大安IC」は、令和6年度開通予定

○「本巣IC～大野神戸IC」は、開通が最大で半年程度遅れる可能性があったが、工程短縮策により、令和7年夏頃開通予定

○「養老IC～いなべIC」は、令和8年度開通予定としていたが開通時期の見直しが必要

- ・養老トンネルでは相当量の湧水が発生し続けており、これまでに専門家の意見を踏まえて水抜きボーリングや止水のための補助工法を追加して着実に工事が進められるよう努めてきたものの、掘削した区間で新たに盤膨れ等の地盤変状が発生しており、掘削に時間を要している。また、この先も、断層破碎帯を通過することが想定されるため、湧水や地盤変状リスクの可能性もあり工事完了時期が見通せない状況。
- ・見直し後の開通時期については、今後の工事進捗状況を踏まえて工程精査し、改めてお知らせする。

○引き続き、安全に十分配慮して着実に工事を実施

